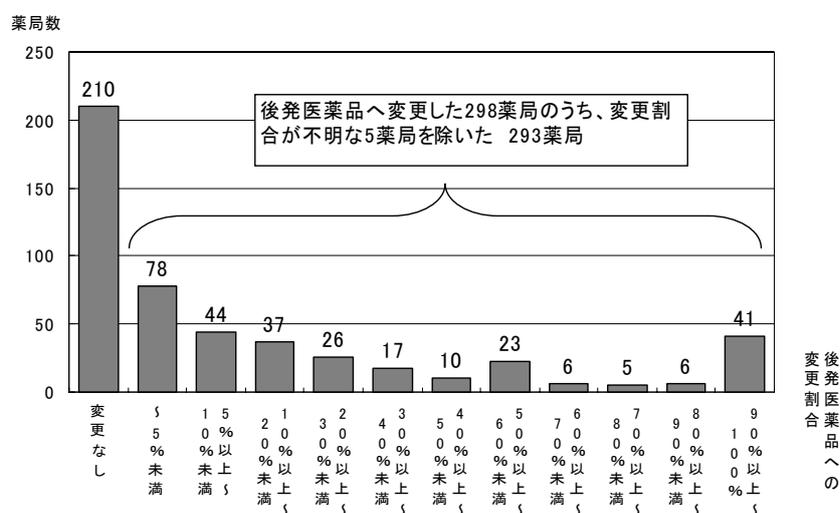


「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局において、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、実際に後発医薬品に変更した処方せんの割合についてみると、変更の割合が5%未満である薬局が78薬局ある一方、変更の割合が90%以上の薬局は41薬局あり、薬局ごとにばらつきが見られる。

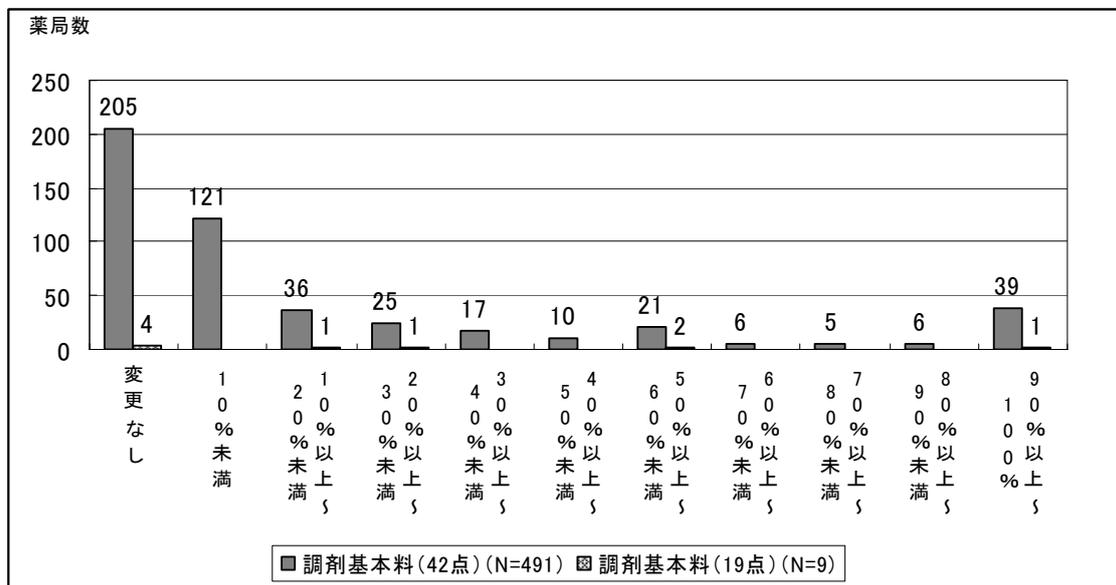
図表 27 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布



※ Nは、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局数（549）から、変更割合が無回答の薬局（41）、および変更割合不明（5）を除いた503薬局。

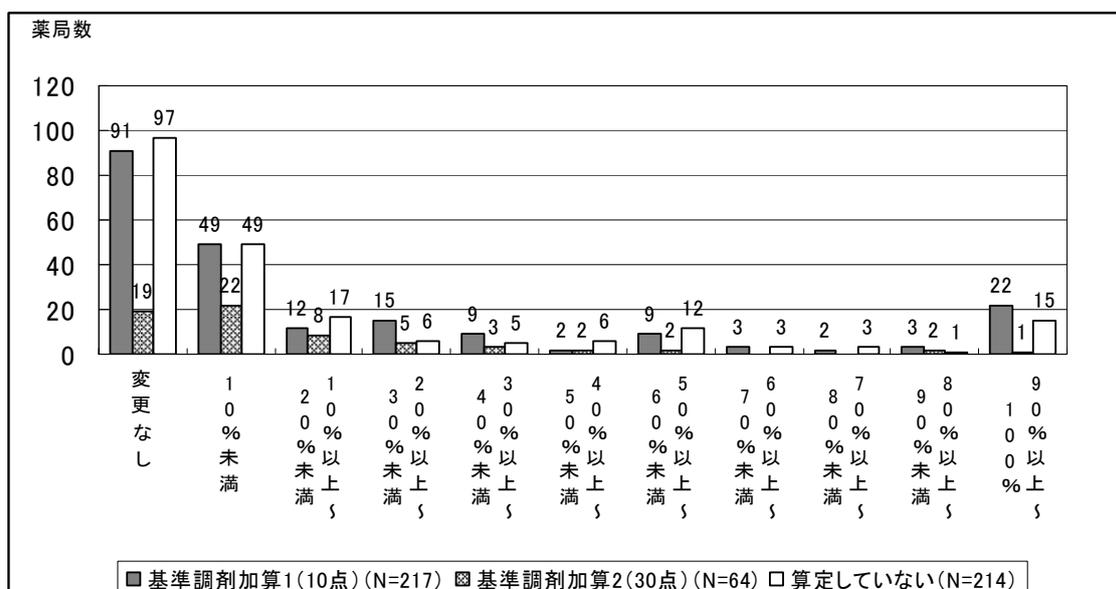
以下、調剤基本料別、基準調剤加算別、主な処方せん発行医療機関別の度数分布表を示す。

図表 28 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（調剤基本料別）



※変更割合不明、無回答は除く

図表 29 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（基準調剤加算別）



※変更割合不明、無回答は除く